

令和 6 年度

「運営に関する計画」

最終評価

大阪市立墨江丘中学校

令和 7 年 2 月

(様式 1 )

大阪市立墨江丘中学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

- 全国、府、市が主催となる学力テストにおいて、ここ数年大阪市平均レベルを上下する程度にとどまっている。当然個々の課題もあるが、全体的にはこの数年、国語の読解力が低迷している。そのことは、他教科にも少なからず影響している。基礎学力が定着していない層も増えつつあり、一定の実力のある層との 2 極化も進みつつある。ある程度実力のある層に対しても、課題である読解力アップや更なる学力向上を目指し様々な取り組みを展開する必要がある。そのために、ICT を活用した授業の在り方を通して、思考力・判断力・表現力を高め、わかりやすい授業を展開する。校内テストで採点支援システムを活用し、様々な角度から生徒一人ひとりの弱点を明確にし、授業改善に努めたい。
- 普段の生活では見受けられないが、昨年の校内アンケートから規範意識は高いものの、自己肯定感に低い数値が表れる。SDGs の取り組みや人権教育を通して生命の尊さや、自他の命を尊重させる心を育て、また、社会の一員としてその文化に触れ、地域活動に参加することにより地域の方々のつながりを深めさせ、次世代の街づくり、更には地域防災へとつなげていく。
- 不登校のみならず、何らかの要因により学校へ登校しにくい生徒の個別学習環境（居場所確保）の整備にも着手しながら、既成概念にとらわれない学び方についても模索する。

**中期目標**

**【安全・安心な教育の推進】**

- 校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 85% 以上にする。
- 校内調査において、不登校生徒の在籍比率を 2.30% 以下にする。
- 校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を 65% 以上とする。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- 校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 35% 以上にする。
- 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団においていずれの学年も 1.00 以上とする。
- 大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を 56% 以上にする。
- 校内調査において「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を 53.6% 以上にする。

**【学びを支える教育環境の充実】**

- ICT を活用した授業において、全教員でのべ 10000 時間以上とする。
- 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 100% とする。
- 墨江丘タイムを年間 6 回以上、ノー残業 day を年間 10 回以上とする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 80%以上にする。
- 校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度(10.5%)より 1.0%以上減少させる。
- 校内調査において、不登校生徒改善の割合を前年度(33.0%)より 1.0%以上増加させる。
- 以下、校内調査において肯定回答を前年度より増加させる。
  - ・「学校のルールを守って生活している」の項目について (前年度 98.2%)
  - ・「クラス・学校は楽しい」の項目について (前年度 88.3%)
  - ・「普段から、あいさつを積極的にしている」の項目について (前年度 91.2%)
  - ・「清掃活動などの班活動に協力し、校内美化に努めている」の項目について (前年度 93.6%)
  - ・「人を傷つけるような言葉や、行動に対して腹が立つ」の項目について (前年度 90.5%)
  - ・「人それぞれの〈ちがい〉を大切にすることを学んでいる」の項目について (前年度 96.7%)
  - ・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目 (前年度 92.3%)

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を前年度(40.1%)より増加させる。
- 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団においていずれの学年も前年度より増加させる。(2年 前年度 国語 1.03 数学 0.97 3年 前年度 国語 1.04 数学 0.98)
- 大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を 50%以上にする。
- 校内調査において「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を前年度(男子 55.2% 女子 40.5%)より増加させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査において、男女ともに合計得点において全国、市平均を上回る。(全国平均男子 41.32 女子 47.22 市平均男子 40.79 女子 46.99)
- 年度末の校内調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。
- 以下、校内調査において肯定回答を前年度より増加させる。
  - ・「学習している内容がわかる、理解しやすい授業だ」の項目 (前年度 90.7%)
  - ・「宿題を含め、予習復習など家庭、また学校外での学習をよく行っている」の項目 (前年度 81.9%)
  - ・「自分にもいいところがある」の項目 (前年度 78.8%)

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ICT を活用した授業において、全教員で昨年のべ時間数 (R5:9267 R4:7974 R3:7845 R2:6448 R 元:4323) を上回る。
- 授業日において、生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 80% 以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く]
- 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 80% 以上とする。
- 墨江丘タイムの日を年間 6 回、ノー残業 day を年間 8 回以上とする。

### 3 本年度の自己評価結果の総括

#### 【安全・安心な教育の推進】

- 校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合 ◎84.9% (目標: 80% 以上)
- 不登校生徒の前年度との在籍比率 ◎6.9% (3.6% ↑) (R5:10.5%)
- 不登校生徒の前年度との改善割合比率 ◎34.5% (1.5% ↑) (R5:33.0%)
- 以下の生徒に対する校内調査項目における肯定回答割合の前年度との比較
  - 「学校のルールを守って生活している」 96.6% (1.6% ↓) (R5:98.2%)
  - 「クラス・学校は楽しい」 86.1% (2.2% ↓) (R5:88.3%)
  - 「普段から、あいさつを積極的にしている」 87.9% (3.3% ↓) (R5:91.2%)
  - 「清掃活動などの班活動に協力し、校内美化に努めている」 93.2% (0.4% ↓) (R5:93.6%)
  - 「人を傷つけるような言葉や、行動に対して腹が立つ」 ◎96.6% (6.1% ↑) (R5:90.5%)
  - 「人それぞれの〈ちがい〉を大切にすることを学んでいる」 96.6% (0.1% ↓) (R5:96.7%)
  - 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」 ◎95.4% (3.2% ↑) (R5:92.3%)

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合 ◎46.6% (6.5% ↑) (R5:40.1%)
- 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比  
2年生：国語…◎1.04 (0.01↑) (R5:1.03) / 数学…◎1.04 (0.07↑) (R5:0.97)  
3年生：国語…1.01 (0.03↓) (R5:1.04) / 数学…◎0.99 (0.01↑) (R5:0.98)
- 大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能) ◎70.3% (目標: 50% 以上)
- 校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合  
学校アンケート…53.0%

- 全国体力・運動能力、運動習慣調査における、男女それぞれの合計得点
 

男子 : ◎45.14 (全国 : 41.86 大阪市 : 41.10)  
 女子 : ◎52.26 (全国 : 41.30 大阪市 : 47.51)
  - 校内調査における「朝食を毎日食べていますか」に肯定的に回答する生徒の割合  
◎90.6% (目標 : 80%以上)
  - 以下の生徒に対する校内調査項目における肯定回答割合の前年度との比較
    - ・ 「学習している内容がわかる、理解しやすい授業だ」 90.4% (0.3%↓) (R5:90.7%)
    - ・ 「宿題を含め、予習復習など家庭、また学校外での学習をよく行っている」 ◎82.2% (0.3%↑) (R5:81.9%)
    - ・ 「自分にもいいところがある」 ◎84.5% (5.7%↑) (R5:78.8%)
- 【学びを支える教育環境の充実】**
- ICT を活用した授業における全教員のべ時間数 R6.02.10 現在 : 9051h (R5:9267h)
  - 全授業日における、生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数の割合  
R6.1 月末 4.2% (目標 : 80%以上)
  - 年次有給休暇を 10 日以上取得した教職員の割合 R6.02.12 現在 : 64.2% (目標 : 80%以上)
  - 墨江丘タイムの日数、ノ一残業 Day の日数  
◎墨江丘タイム…16 日 (目標 : 6 日)    ◎ノ一残業 Day…35 日 (目標 : 8 日)

## (様式2)

## 大阪市立墨江丘中学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 80%以上にする。</li> <li>校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度(10.5%)より 1.0%以上減少させる。</li> <li>校内調査において、不登校生徒改善の割合を前年度(33.0%)より 1.0%以上増加させる。</li> <li>校内調査における、「学校のルールを守って生活している」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える肯定的回答の割合を前年度(98.2%)より増加させる。</li> <li>以下、校内調査において肯定回答を前年度より増加させる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「クラス・学校は楽しい」の項目について (前年度 88.3%)</li> <li>「普段から、あいさつを積極的にしている」の項目について (前年度 91.2%)</li> <li>「清掃活動などの班活動に協力し、校内美化に努めている」の項目について (前年度 93.6%)</li> <li>「人を傷つけるような言葉や、行動に対して腹が立つ」の項目について (前年度 90.5%)</li> <li>「人それぞれの〈ちがい〉を大切にすることを学んでいる」の項目について (前年度 96.7%)</li> </ul> </li> </ul>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>墨江・清水丘連合会に、生徒の防災リーダーを認定し、さらに、「命」をテーマに、防災の取り組みを各学年で構築していく。</li> <li>いのちの教育を通じて命の大切さを学ぶ。</li> </ul>	A
<p>指標</p> <p>年度末の校内調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 92.3%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【1 安心安全な教育環境の実現】</p> <p>不登校のみならず、何らかの要因により学校へ登校しにくい生徒のファーストペングルーム(居場所確保)の整備に着手し、既成概念にとらわれない学び方を取り入れる。</p>	B
<p>指標</p> <p>校内調査において、不登校生徒改善の割合を前年度(33.0%)より 1.0%以上、増加する。</p>	

<p>取組内容③【1 安心安全な教育環境の実現】 生徒間で起こる「いじめ」や「トラブル」について、確実な情報収集とともに早期解決に向け組織的に対応する。</p> <p>指標 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 86.6%以上にする。</p>	B
<p>取組内容④【1 安心安全な教育環境の実現】 朝の登校指導(遅刻〇の日等)や服装点検等々、学校生活全般にわたっての学校ルール指導強化期間を構築しその徹底を図る。</p> <p>指標 年度末の校内調査における「学校のルールを守って生活している」に対して、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える肯定的回答の割合を前年度(98.2%)より増加する。</p>	B
<p>取組内容⑤【2 豊かな心の育成】 特別支援学級在籍の有無に関係なく、特別な支援を必要とする生徒にできる限りの支援を行う。</p> <p>指標 年度末の校内調査における「クラス・学校は楽しい」の項目について、肯定的回答が 88%以上にする。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>① 1年:6月に防災リーダーを中心に、町会ごとに地域清掃を行った。 2年:2月に区役所・消防署・地域共同の防災訓練実施。 3年:12月に救急救命講習を行った。 3年生の全国学力・学習状況調査において、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合が 99.4%と大きく上回る。</p> <p>② 不登校改善率はファーストペングルームの個室・フリースペースを活用し、不登校生徒改善の割合が前年度よりも 1%以上上がった。</p> <p>③ 学期初めに、生活指導強調週間を行うことで、小さな積み重ねと習慣の大切さに気付かせることができた。それと同時に、教育相談を行うことで、担任と生徒一人ひとりの現状の変化、状況を丁寧に話し合うことができた。校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合が 97.7%と目標よりも 11.1%高いので指導を継続していく。</p> <p>④ 年度末の校内調査における「学校のルールを守って生活している」に対して、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える肯定的回答が増えるように、引き続き生徒主体の校則改定を行っていく。</p> <p>⑤ 入り込み授業の際に支援学級在籍の生徒だけでなく通常学級生徒も含めた授業、学校生活に対する支援を行い、通級なども活用し個別最適な学びを提供していくことに取り組んだ。その中で、通常学級在籍生徒の中で特に気になる生徒 2 名を、年度途中新たに通級指導に所属させ、抽出授業やオンライン授業を行った結果「学校に行くのは楽しいと思う」と回答した割合は 86.4%であった。</p>	B

### 次年度への改善点【最終評価】

- ① 夏休み明けなど、長期休みの後に学校に来づらくなる生徒や素行不良が増加する傾向にある。教育相談や行事を通して、安心・安全な学校づくりに向けて学年やクラスの運営により一層力を入れていく。
- ② 前年度に比べて、ファーストペングルーム（個別の学習ルーム）の活用率が大幅に増加した。今後は、ファーストペングルームの運営方法を生徒支援部で考えていく。
- ③ 5月の「いじめについて考える日」では、生徒会考案のいじめ防止の授業を全学年で行った。その後、「校内いじめアンケート」を実施。アンケート結果、気になる内容については再度、教育相談を行った。いじめや暴力行為等の根絶をめざすために、教職員全員と連携を図り、指導する必要がある。また、いじめの手段が常に変化していくため、時代に応じた対策を模索するとともに情報管理、情報共有、提供してもらえる地域との連携を深めていきた。
- ④ 生活定着週間の期間だけではなく、この取り組みを日常の学校生活につなげられるように、生活委員と連携していく。
- ⑤ 今年度は「学校に行くのは楽しいと思う」の肯定的回答は 86.4%と目標の 88%に僅かながら届かなかった。次年度は、目標数値に達するよう個別最適な学びの場を提供していきたい。

## (様式 2)

## 大阪市立墨江丘中学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を前年度(40.1%)より増加させる。</li> <li>中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団においていずれの学年も前年度より増加させる。(2年 前年度 国語 1.03 数学 0.97 3年 前年度 国語 1.04 数学 0.98)</li> <li>大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合(4 技能)を 50%以上にする。</li> <li>校内調査において「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を前年度(男子 55.2% 女子 40.5%)より増加させる。</li> <li>校内調査において「学習している内容がわかる、理解しやすい授業だ」の項目について、肯定的回答を前年度(90.7%)より増加させる。</li> <li>全国体力・運動能力、運動習慣調査において、男女ともに合計得点において全国、市平均を上回る。(全国平均男子 41.32 女子 47.22 市平均男子 40.79 女子 46.99)</li> <li>年度末の校内調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。</li> <li>以下、校内調査において肯定回答を前年度より増加させる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「宿題を含め、予習復習など家庭、また学校外での学習をよく行っている」の項目 (前年度 81.9%)</li> <li>「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目 (前年度 92.3%)</li> <li>「自分にもいいところがある」の項目 (前年度 78.8%)</li> </ul> </li> </ul>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① <b>【4 誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <p>総合的読解力育成カリキュラム（年間 8 時間以上）の実施や各教科の言語活動を充実させることで、総合的読解力を育成する。</p>	
<p>指標</p> <p>校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を前年度(40.1%)より増加させる。</p>	B

## 取組内容②【5 健やかな体の育成】

各種目、基礎的な運動から、ゲームなどの実践的な運動を実施する。

### 指標

校内調査において「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を前年度(男子 55.2% 女子 40.5%)より増加させる。

B

### 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ① 総合的読解力育成カリキュラムについて、1学期に2年生、2・3学期に1・3年生で実施した。総合的読解力(4つの力)を各教科でも育成するために、9月に全教員による研究授業を実施し、総合的読解力の育成を図った。達成状況としては、3年生の全国学力・学習状況調査では、42.2%が最も肯定的な回答をしており、1,2年生の結果がまだ出でていないが、前年度より増加することが期待される。
- ② 各種目、スポーツの歴史や成り立ち、基礎的な技能などを学ばせることができた。また、ゲームなどの実践的な運動を実施する際に、技能の差を埋めるために、アダプテーションルールやゲームの方法など、生徒が主体的に設定する機会を多く与えた。また、文化発表会の展示部門において、スポーツに関する新聞を作成することで、運動やスポーツに関する知識も主体的に学ぶ機会を与えた。達成状況としては、男女別の調査は行われなかつたが、52.9% (前年度 47.8%) 最も肯定的な意見を回答しており、5.1%増加することができた。

### 次年度への改善点【最終評価】

- ① 総合的読解力育成カリキュラムについて、1学期は2年生が先行実施し、2学期に1・3年生がさらに充実した学びとなるように1学期の反省点を生かして実施した。授業で学習者用端末を使用したり、言語活動の充実を図ったりして、総合的読解力(4つの力)を各教科でも育成することができた。来年度は、総合的読解力育成カリキュラムと各教科の授業実践において、年間35時間以上の授業実践を行う予定である。
- ② 継続的に運動やスポーツの知識や基礎的な技能を学ぶ機会を多く作っていくと同時に、教員や生徒が単元ごとに、最低1時間はICTを活用した授業実施していく。

## (様式 2)

## 大阪市立墨江丘中学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT を活用した授業において、全教員で昨年ののべ時間数 (R5: 9267 R4: 7974 R3: 7845 R2: 6448 R 元: 4323) を増加する。</li> <li>授業日において、生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 35% 以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く]</li> <li>年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 80% 以上とする。</li> <li>墨江丘タイムの日を年間 6 回以上、ノー残業 day を年間 9 回以上とする。</li> </ul>	C

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① <b>【6 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】</b> 大型モニター、プロジェクター、タブレット等を活用した、わかりやすい授業の在り方を研究する。</p> <p>指標 授業日において、生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 35% 以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く]</p>	C
<p>取組内容② <b>【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b> 墨江丘タイムの日（年間 6 回以上）やノー残業 day（年間 8 回以上）を設定し、教職員の働き方改革をすすめる。</p> <p>指標 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 80% 以上とする。</p>	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>① 大型モニター・プロジェクターを使用した授業が多く実践されたが、1 月末における生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数の割合が、4.2% のみであった。</p> <p>② 墨江丘タイムの日（年間 11 回）やノー残業 day（年間 34 回以上）を設定した。半年間（4～9 月）で有給休暇を 5 日以上取得した教職員は 34 名（81%）であった。</p>

次年度への改善点 【最終評価】
<p>① 教員だけが ICT 機器を使用するのではなく、生徒にも毎朝心の天気を入力させ、授業において Teams の活用を図る。</p> <p>② 計画通りに墨江丘タイムの日やノー残業 day を実施する。</p>

## 1 総括についての評価

今年度の教育振興基本計画を土台とした学校の取り組みとして、

【安全・安心な教育の推進】については、概ね期待通りの目標を達成した。校内調査の数値目標も昨年度を上回っている項目も複数あるが、さらに学校生活の充実度、また学校の中での居場所づくりのための取り組みのため、ファーストペンギンルームを活用し不登校生が教室に入れなくても社会とのつながりの場ができる目的として設置し、今年度数名、不登校の改善がみられた。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】に関しては、1,2 年生については、チャレンジテストにおいて、受験科目の全教科大阪市、大阪府平均を上回りほぼ期待通りの結果であった。しかし、3 年生については、数学には課題が残ったが、その他の教科については大阪府の平均を上回る結果となった。今年度の学校の自己評価は概ね期待通りの目標を達成した。全国体力・運動能力、運動習慣等の調査では、男女ともに大阪市平均、全国平均を大きく上回っている。

【学びを支える教育環境の充実】では、昨年度比較として時間外勤務時間数の平均時間数も毎月昨年を下回っている。また、ノー残業デーや午前中授業までとした教育課程の変動時程、墨江丘タイムも昨年度よりも多く実施することができた。全市取り組みである、自動採点システムや教育 DX の導入により一層時短が進められている。さらに、働き方改革を加速するために教育課程の見直し、45 分授業時間などを盛り込み計画的に進めていきたい。

## 2 年度目標ごとの評価

## 年度目標：【安全・安心な教育の推進】

- 校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合 ◎84.9% (目標：80%以上)
- 不登校生徒の前年度との在籍比率 ◎6.9% (3.6%↑) (R5:10.5%)
- 不登校生徒の前年度との改善割合比率 ◎34.5% (1.5%↑) (R5:33.0%)
- 以下の生徒に対する校内調査項目における肯定回答割合の前年度との比較
  - ・ 「学校のルールを守って生活している」 96.6% (1.6%↓) (R5:98.2%)
  - ・ 「クラス・学校は楽しい」 86.1% (2.2%↓) (R5:88.3%)
  - ・ 「普段から、あいさつを積極的にしている」 87.9% (3.3%↓) (R5:91.2%)
  - ・ 「清掃活動などの班活動に協力し、校内美化に努めている」 93.2% (0.4%↓) (R5:93.6%)
  - ・ 「人を傷つけるような言葉や、行動に対して腹が立つ」 ◎96.6% (6.1%↑) (R5:90.5%)
  - ・ 「人それぞれの〈ちがい〉を大切にすることを学んでいる」 96.6% (0.1%↓) (R5:96.7%)
  - ・ 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」 ◎95.4% (3.2%↑) (R5:92.3%)

### 年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合  
**◎46.6% (6.5%↑)** (R5:40.1%)
- 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対応比  
2年生：国語…**◎1.04 (0.01↑)** (R5:1.03) / 数学…**◎1.04 (0.07↑)** (R5:0.97)  
3年生：国語…**1.01 (0.03↓)** (R5:1.04) / 数学…**◎0.99 (0.01↑)** (R5:0.98)
- 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)  
**◎70.3%** (目標：50%以上)
- 校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合  
学校アンケート…**53.0%**
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査における、男女それぞれの合計得点  
男子：**◎45.14** (全国：41.86 大阪市：41.10)  
女子：**◎52.26** (全国：41.30 大阪市：47.51)
- 校内調査における「朝食を毎日食べていますか」に肯定的に回答する生徒の割合  
**◎90.6%** (目標：80%以上)
- 以下の生徒に対する校内調査項目における肯定回答割合の前年度との比較
  - 「学習している内容がわかる、理解しやすい授業だ」 **90.4% (0.3%↓)** (R5:90.7%)
  - 「宿題を含め、予習復習など家庭、また学校外での学習をよく行っている」  
**◎82.2% (0.3%↑)** (R5:81.9%)
  - 「自分にもいいところがある」  
**◎84.5% (5.7%↑)** (R5:78.8%)

### 年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

- ICTを活用した授業における全教員の平均時間数 **R6.02.10 現在: 9051h** (R5:9267h)
- 全授業日における、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数の割合  
**R6.1 月末 4.2%** (目標：80%以上)
- 年次有給休暇を10日以上取得した教職員の割合 **R6.02.12 現在: 64.2%** (目標: 80%以上)
- 墨江丘タイムの日数、ノーカンク Dayの日数  
**◎墨江丘タイム…16日** (目標：6日) **◎ノーカンク Day…35日** (目標：8日)

### 3 今後の学校園の運営についての意見

- ・学習面については、昨年度より改善したものの本校の課題としては理数系の強化が必要である。各理数の先生方の経験年数が少ないとから、他教科も含めて次年度、授業研究の研修の仕組みを見直し、授業者の授業改善の視点を全教職員で考えるなどの研究協議を進めていきたいと考えている。（学校教職員の授業力育成・人材育成について）
- ・受験スキルの習得も大切であるが、最近のテーマである「探求」も追い求めていきたい。本校では、地域探求や大塚食品等民間とのコラボ授業など、生きる力に直結する思考を大切に取り組んできた。学校運営の中で、社会に生きる力をつけるために、産官学の連携をさらに強化していくと考えている。3年生では、次年度「探究学習」の集大成である修学旅行を計画している。修学旅行地の隠岐の島と島根県の協力もあり、街おこしのための提案を中学生が行う。隠岐の島では、町長や島民、島根県庁からも来ていただき、隠岐の島の魅力アップ、広報活動などに取り組む予定である。学校での学びを受験スキルだけではなく、未来を切り拓く力へと変換した取り組みをさらに推進していく。